

＜ 芸 術 ＞ 科 学 習 シ ラ バ ス

科 目	器 楽	学 年 ・ 類 型	2 年 生 スポーツ&カルチャー	単 位 数	2 単 位	教 科 書	な し		
学習の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・ 器楽の諸活動を通して、楽器の演奏に関する知識や技術を身に付ける。 ・ 楽器の演奏を通して、読譜能力の向上を図る。 ・ 楽器の音色の特徴や演奏者による表現の違いに気付き、味わって鑑賞することができる。 							
評価の観点	A 知識・技能		B 思考・判断・表現			C 主体的に学習に取り組む態度			
評価の内容	創意工夫を生かした表現をするために必要な、曲にふさわしい技能を身に付け、器楽で表している。		音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、表現意図をもっている。			曲想と音楽の構造や奏法、文化的・歴史的背景等との関りに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動での表現内容 ・ 実技テスト ・ ワークシート 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動での表現内容 ・ 実技テスト ・ ワークシート 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動への参加姿勢や態度 ・ ワークシート 			
学期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容				評 価 の 観 点		
1 学 期	4	表現を工夫してキーボードを演奏しよう	キーボードの独奏やアンサンブルを通して、曲にふさわしい奏法を身に付けるとともに、音色や表現を工夫して個性豊かに演奏する。						
	5								
	6								
	7	1学期の器楽学習のまとめ	1学期のまとめとして発表会を行い、学習内容の定着度を確認するとともに、これまでの学習を振り返って課題を確認し、2学期以降の取り組みを考える。				○	○	
2 学 期	8・9	ヴァイオリンに親しみ、表現を工夫して演奏しよう	ヴァイオリンに親しみ、その音色や表現の特徴を味わうとともに、奏法を身に付け、音色や表現を工夫して個性豊かに演奏する						
	10	リズムによってアンサンブルをしよう							
	11		キーボードやヴァイオリンなどによるアンサンブルを通して音色や奏法、表現を工夫し、他者と協働しながら演奏する喜びを味わう。				○	○	
	12	2学期の器楽学習のまとめ	2学期のまとめとして発表会を行い、学習内容の定着度を確認するとともに、これまでの学習を振り返って課題を確認し、3学期以降の取り組みを考える。				○	○	
3 学 期	1	表現を工夫して器楽アンサンブルをしよう	各パートの役割を意識するとともに、全体の響きや表現上の効果に留意しながら、表現を工夫して器楽アンサンブルをする喜びを味わう。						
	2	グループによるアンサンブルコンサートをしよう							
	3		1年間のまとめとしてコンサートを企画し、それぞれのグループが選択した表現方法で創意工夫を生かした表現活動を行い、音楽の喜びや楽しさを味わう。					○	○
学習のポイント		<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽器の構え方や音階などの基礎を大切に、慣れるまで繰り返し練習する。 ・ アンサンブルではテンポを合わせる事が重要なので、よく聴き合い、慣れるまで繰り返し練習する。 ・ 人前で発表することに慣れ、自分なりの表現ができるよう工夫する。 							